

《担当者名》○志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]
向谷地生良 [ikuyoshi@hoku-iryo-u.ac.jp]
白石 淳 [jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

特別研究においては、各科目において学んだ内容を、さらに精緻化・特殊化された内容を研究する。
履修学生は、これまでの学習に基づき、担当教員と協議して関連領域に関する特定のテーマを「特別研究」として選択し、担当教員の指導を受けつつ、特別研究を進展させる。
特別研究の具体的なテーマは、指導教員の担当する講義科目及び演習、あるいは実地研究等において、あらかじめ十分な学習が行われたものの中から取り上げられ、博士論文執筆のために高度で精細な指導が行われる。

【学修目標】

臨床福祉学特別研究では、自立した研究者として科学方法論を適切に適用し、当該分野における新たな知見を探求できる能力の修得が目標である。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	研究指導	【授業計画】 それぞれの担当教員と協議のうえ、決定される。	志水 向谷地 白石

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

テーマへの研究方法30%、論文70%

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

当該分野における最新の研究動向を踏まえ、関連する文献等の内容に対する分析的・批判的な理解が必須である。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという臨床福祉学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。